

モンタナ州立大学ビリングス校 ESL 参加報告書

総合管理学部総合管理学科 1年 井手 美咲

私は、2月18日から3月19日までの約一か月間、本校の協定校であるモンタナ州立大学ビリングス校にて短期研修団としてアメリカで生活しました。

私がこのプロジェクトに参加しようと思った理由は2つあります。1つは、もともと英語の勉強が好きで、本場で英語を学びたいという夢があったからです。2つ目は、海外の方と触れ合って新しい文化や考え方の違いなど、身をもって知りたいと思ったからです。

私にとってこの留学が初めての海外だったため、最初は不安でいっぱいでした。しかし、他の研修団のメンバーや引率の先生もいてくださったので、無事スケジュール通り入国・出国が出来ました。移動には、東京からだ計12時間ほどかかりましたが、ビリングスの空港に着くと、私たち研修団のすべてのホストファミリーが暖かい笑顔で迎えに来て下さり、とても嬉しかったです。

ホストファミリーとの生活は、最初は思ったように話すことが出来ず、ゆっくり単語を並べながらでしか話せませんでした。ホストファミリーは笑顔でうなずきながら理解しようとして下さり、徐々に緊張せずに話すことが出来るようになりました。また、スーパーやショッピングセンターに行った際にも、店員さんはみんな私たちに「困っていることはないですか？」と声をかけて下さり、とても温かい町だと感じました。



ビリングス校では、平日は9時から14時までスピーキング、ライティング、リーディング、ライティングの授業があり、それから15時までは自由時間でした。授業では、先生が丁寧に教えて下さりとても理解しやすかったです。また、英語で簡単なプレゼンテーションをする授業もありました。これは、日本人留学生だけでなく、インド人や中国人・韓国人留学生とも合同で

様々な国籍の学生とチームを組み、パワーポイントや原稿を作成しました。初めての英語のプレゼンテーションでとても緊張しましたが、みんなが暖かく見守って下さり、無事発表が出来ました。この授業のおかげでアメリカ人以外にも外国の友達が出来ました。自由時間は、先生がショッピングモールやダウンタウンに連れて行ってくださり、たくさんお

買い物が出来ました。また、金曜日は授業ではなく、アメリカの伝統料理を作ったり、絵をかいたり、動物園やボーリングにも連れて行っていただきました。正直こんなに座学以外の活動があるとは思っていなかったのですが、毎日たくさんの刺激がありとても楽しかったです。



週末はホストファミリーと過ごしました。私のホストファミリーはとても若い夫婦だったため、ダンスクラブやパーティーにたくさん連れて行っていただきました。そこでは日本では考えられないくらい全員が楽しそうに踊っていて、私も日常を忘れて楽しめました。また、雪山にも連れて行って下さり、上の写真のような仮装雪そり大会を見に行きました。現地はすごく雪が積もっていて、歩くのも大変なほどでしたが、ホストファミリーやその友達と大声で応援しました。参加者のコスチュームには日本のキャラクターも多く、日本のアニメやゲームの認知度の高さを感じることが出来ました。

残念なことに留学の終わりの時期にはコロナウイルスがモンタナ州でも流行し、最後の3日分の授業が休校となってしまいました。その分学校でみんなや先生にも会えず卒業式もできませんでした。そのため、残りの時間は家の中でみんなと映画を見たりゲームをしたりして楽しく過ごしました。出国の日には朝早くから先生方がお見送りに来て下さり、最後に感謝を伝えることが出来て本当に嬉しかったです。

最後に、この短期留学プログラムを通じて、英語の能力向上はもちろん、アメリカの文化や人権意識などの考え方で、様々なことを学ぶことが出来ました。また、英語を話すことに苦手意識があった私でも、優しい先生方やホストファミリーに囲まれて、間違いを恐れずに発言できるようになりました。この経験のおかげでこれからさらに英語を学んで国際的な仕事に就きたいと確信をもって言えるようになりました。留学に興味はあるけれど迷いや不安がある人は、まずは私のように短期から挑戦してみることをお勧めします。学校からの様々な奨学金も活用できるため、経済面でも安心できます。皆さんが優しい先生方や楽しいプログラムに沿って充実した生活を送れることを保証します。